

内弟子生活を通して 李 雪珠



李雪珠と申します。大学二年生から日本語の先生のおかげで合気道が始めました。最初の時は一生懸命稽古をやって色々技を覚えたかったです。先生からの指導もあまり理解できなくて、自分が思う通りにただ技をやっていただけでした。五級の審査を受けてから合気道という道のボトルネックに会いました。先生が指導頂いたのは理解できましたが、体が思い通りに動きません。この問題を抱えながら小林道場の内弟子プログラムに参加しました。

小林道場に行く前に内弟子の友達から道場の生活内容が知らされてきました。それでも道場に入ってから本当に緊張する日々が続きました。周りの皆さんの真面目さと厳しさはその時まで感じたことのないものでした。内弟子は稽古以外に道場の掃除と先生から頼まれる仕事もあります。稽古前に先生に礼をして袴を渡す、稽古が終わってから袴を畳む、という仕事では私はいつも遅く、先生に申し訳なく感じていました。一番大変だったのは朝稽古のある日、朝五時前に起きて、掃除をしてからすぐ稽古に入ることです。最初のうちは意外にも寝不足の体でも稽古では張り切っていることができました。でも一週間ぐらい経って、筋肉が痛みだし、体もだるくなりました。そんな時、総師範がお風呂屋さんに来て行ってくれました。おかげ様で、疲れが吹き飛びました。それから元気な状態が続くようになりました。だんだん体も慣れ、寝る時間もうまく調整できるようになりました。



小林道場での稽古は本当に楽しかったです。私ができなかった技がある時、皆熱心に自分の合気道の経験を踏まえて教えて下さり、また、指導員の先生達からは、私の仕事と技についての問題が有るところを教えて頂き、大変お世話になりました。

今の私はまだ体の統一感がなく、技をする時はすごく手が力んでしまうという問題があります。これからもこの問題にまっすぐに向き合い、頑張っていきます。合気道は人によって、違うスタイルがありました。小林道場の皆さんは同じ楽しいスタイルで、日々の稽古を通して、この雰囲気に入れることができ、本当に感謝しています。



四十日間という短い期間でしたが、本当に勉強になり、いい経験になりました。この経験は私の今後の仕事と生活の中にも活かすようにします。小林道場にいっぱい良い思い出ができました。この思い出も大切にします。ありがとうございました。